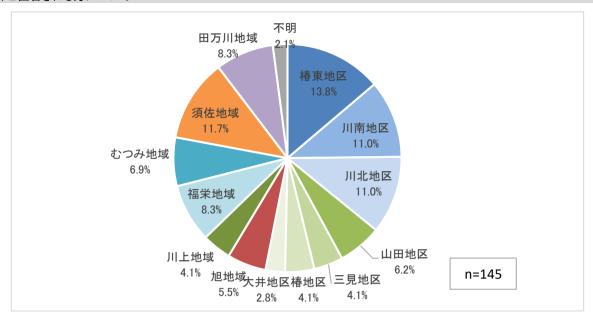
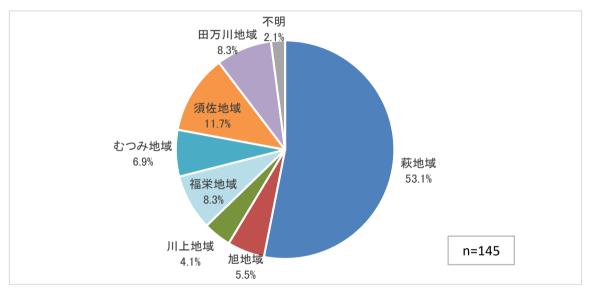
参考資料3 民生委員アンケート調査結果

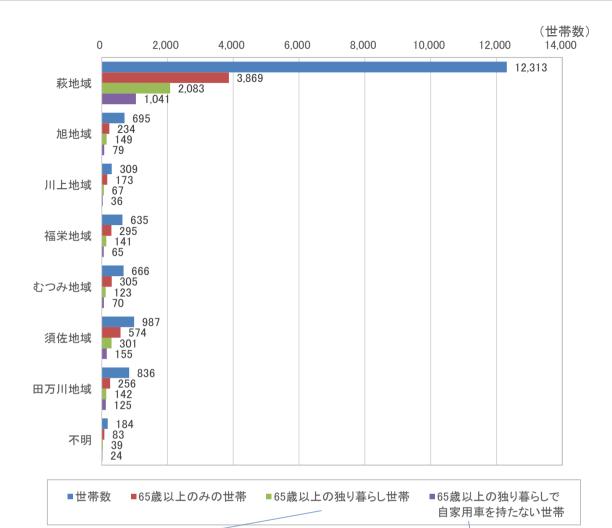
### (1)ご回答される方について



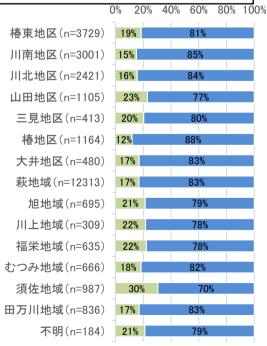


1

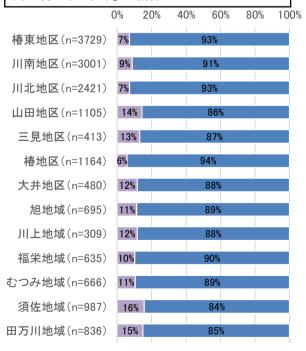
#### (2)担当地区構成について



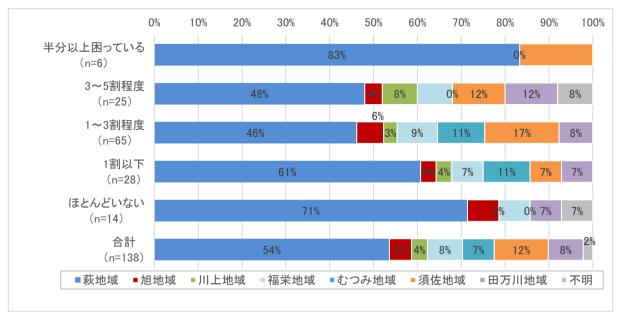
# 「世帯数」に対する 「65歳以上の独り暮らし世帯」の割合

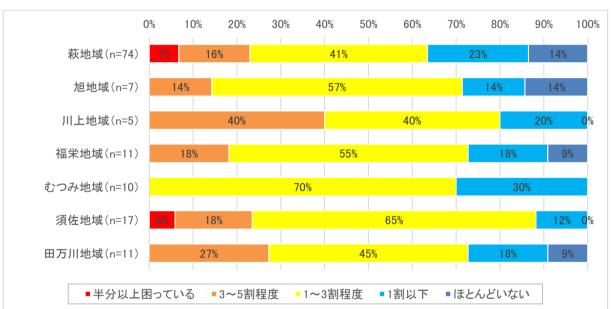


# 「世帯数」に対する「65歳以上の独り暮らしで自家 用車を持たない世帯」の割合

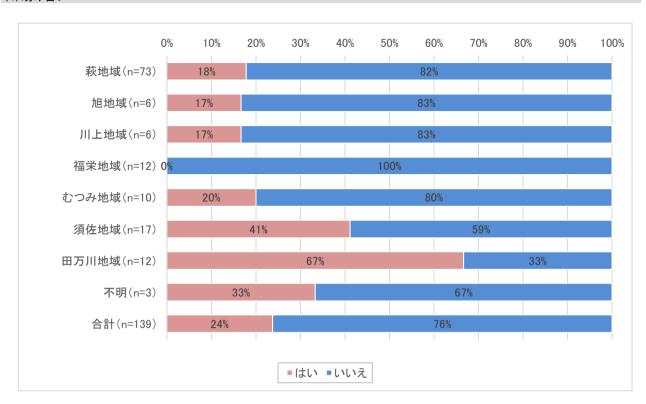


#### (3)地域内の移動にお困りの方

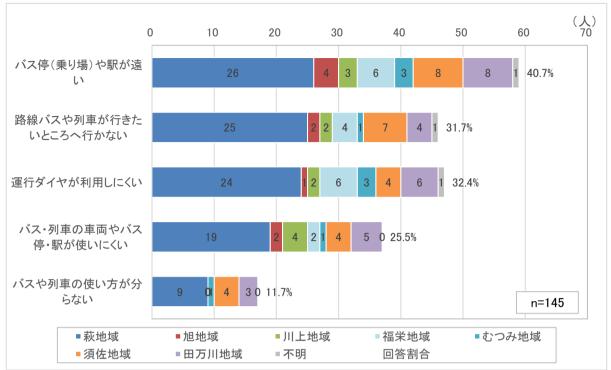




### (4)助け合い



#### (5)地区の抱える課題



※複数回答

地域·地区	バス停(乗 り場)や駅 が遠い	路線バスや 列車が行き たいところ へ行かない	運行ダイヤ が利用しに くい	バス・列車 の車両や バス停・駅 が使いにく い	バスや列車 の使い方が 分らない
椿東地区(n=20)	40%	40%	45%	35%	10%
椿地区(n=6)	17%	33%	0%	17%	0%
大井地区(n=4)	25%	50%	0%	25%	0%
川北地区(n=16)	13%	25%	25%	13%	13%
川南地区(n=16)	50%	25%	25%	25%	13%
山田地区(n=9)	22%	22%	44%	22%	22%
三見地区(n=6)	67%	50%	50%	33%	17%
萩地域(n=77)	34%	32%	31%	25%	12%
旭地域(n=8)	50%	25%	13%	25%	0%
川上地域(n=6)	50%	33%	33%	67%	0%
福栄地域(n=12)	50%	33%	50%	17%	0%
むつみ地域(n=10)	30%	10%	30%	10%	10%
須佐地域(n=17)	47%	41%	24%	24%	24%
田万川地域(n=12)	67%	33%	50%	42%	25%
合計(n=145)	41%	32%	32%	26%	12%

(3) 地域内に移動にお困りの方はどの程度いらっしゃいますか?	50
秋地域   寝たきり。親戚ない。	56 1
要ださり。税献ない。 買物は自転車か自家用車で行っている。困ったときは子どもに頼んでいる。	1
地区に住んでいる独り暮らしの方が車を持たず、足が不自由で買い物、病院等へ行くのができず、ついつ	
いタクシーを使っている。バスを利用するときもあるが、目的地の所近くに止まらないので降りてから	1
後、歩くのが困難である。	
担当地区の半分が山裾に面しており、坂道が多く、車のない世帯の方は困っておられる	1
老人カーを利用している人はバス停までは難しい。独り暮らしの人や補助の手助けがいる人は、ハイヤー	1
(2,000円) 使っておられます。 JRの便が少ない。JRは階段の昇降があるので利用が難しい。通院、買い物の便がない。特に三見内に食	
品・日用品販売しているところはあるが、品数が少なく、医療品や衣類等が無い。	1
足腰が悪く外出困難。移動はすべてタクシーで免許返還した為大変不便である。	1
いずれの地区においても、独居の方が免許もなく、買い物、病院に行くのに困っている。タクシーの利用	1
が多い。	
通院、買い物等に不便。	1
バスが一方向だけの運行の為、目的地に倍時間がかかることがある。 平安古西区の1に住んでいる一人暮らしの方が車を持たず、バス停が遠く、買い物にバスを利用しても、	1
ータロ四区の11c性のでいる一人春らしの方が単を持たす、ハス停が遠く、負い物にハスを利用しても、 帰りは荷物が重いので、沢山は買えないので困っている。	1
バスを利用しているが路線の便が悪い。	1
住居一軒一軒が離れている。	1
バスを利用しても時間がかかるので、片道のみバスで、後の片道はタクシーを利用する人が多い。	1
上が悪いのでバス停までが遠い。 	1
バス停が遠いので不便である。 	1
地域内に店が、大型店に押されて大変少ないため、病院通いや買い物、その他の移動の手段はバスであ る。主だった病院や店の近くにバスが止まってほしい。	1
バス停まで5~10分くらいなので歩いて行ける。	1
地理的に歩いて買い物・郵便局などに行けるので、特に困りごととして耳には入って来ない。	1
バス停まで坂道で、高齢者には負担である。	1
独居、高齢者の方の交通手段。	1
バス利用は出かけるときに使用することが多い。帰りはタクシーを利用。荷物が重く、また帰りのバスの は関が合わない。そのもはまし、221元、後に行っていると関く(ねち)、作のもは、	1
時間が合わない。そのため友人、2,3人で一緒に行っていると開く(タクシー代のため)。 比較的、スーパーや公共施設などに近い所なので徒歩や自転車の方が多いと思います。まぁーるバスは行	
さは良いのですが、帰る時、時間がかかりすぎてタクシーを利用されています	1
ほとんどの住民がマイカーで生活しておられるので、高齢になり運転をやめられてから、自転車かタク	1
シー利用になり不便ということです。	1
目的地に行くまでの交通の便が悪い。	1
まぁーるバスが通っているが上下線があれば良いが一方方向なので他病院やスーパーに行く場合萩一周して日的地に到差するので時間がかれる。	1
て目的地に到着するので時間がかかる。 車は持たない一人暮らしの方が、買い物や病院などに行くのに困っている。バスを利用しているが、行き	
たい施設の近くにバス停が無く困っている。また、目的地までルートにより遠回りするため所要時間が長	1
く困っている。	
まぁーるバスが来ていない事です。	1
女性の場合は、いつも何人かで出かけておられます。男性一人暮らしが難しいようです。	1
まぁーるバスのバス停が南区に変わって、信号を渡って行かなくてはいけない。 全面的にすがられる事がある。非常に困る。	1
まぁーるバスの路線変更により地域内に停留所が無くなり不便を感じる。	1
足が悪く杖を利用しておられ、病院や買い物等に行く時も大変で、タクシーを利用されています(バスの	1
乗り降りも大変です)。	
まあ一るバスを利用しているが行きたい施設に立ち寄らず、目的地まで停車位置から歩くのが大変。	1
足腰が弱ってきた。タクシーを頼めば往復料金がバカにならない。 	1
汽車で病院に行っても昼間の便が少なく不便である。汽車で買い物に行っても帰りが大変である (荷 物) 。ぐるっとバスは事前予約が必要で、無料と言うのも使いづらい。	1
地区に住んでいる1人暮らしの方で、歩行に困難のため、日用品の買い物や病院へ行くのに、タクシーを	
利用されている。市外へ行くのにバス停まで、あるいは駅へ行くのに困っていたりバスや汽車の運行数が	1
少なく、時間帯によっては全くない場合もあると言われていた。	
現在は少ないが、年数がたてば、困るようだ。	1
地区内にデイサービス等施設はあるも、病院がない。開設又は通院手段に考慮されたい。地区内の商店が	1
JAふれあい店のみとなっている。その存続への努力と地区外への買い物手段(交通システム)に不安があります。	ı
	1
通院(萩市内の病院)。買い物。	1
高齢者の方で車を持たず生活している人は、買い物や病院に行くのに困っている。行き先にあわせるとバ	1
スが利用しにくい。	
同居人の車が移動手助けとなっております。バス停は遠いため荷物を持つと大変(1.5~2キロ)。 京教者の大の買い物、病院等はほとくどがなれる。	1
高齢者の方の買い物、病院等はほとんどがタクシー、徒歩、タクシー、自家用車で、身体的・金銭的に負担が大きいのでは…。	1
■ 短が入さいのとはか。 買い物、ゴミ出し(燃えないゴミとか、缶ビンを持ってゆくのが苦になります)。町内で1ヶ所なので遠	
い人は困っています。	1
今ところ1~2人ですが5年先は増えると思います。移動は家族の方が迎えに来られたりする。自転車でバ	1
ス停まで行かれる。	

	Fの時、近くに停留所がな!	い為、行きは徒歩で帰りに	いが、運転ができない高齢者に はタクシーを利用する人が多い様 	I= 1
山田地区に住んでし		を持たずバス停も遠いため	り、買い物や病院に行くのに困っ	て 1
	ゝなく、帰りはタクシーを 時間が掛かる。また、走る		多い。	1
市内でスーパーが歩			ありますので、特に不便はないと	-
			乗ろうと思うと1日仕事になる。ノ	ĭ 1
市内のまぁーるバス		この範囲で不便な地区では	ないが、足の不自由な人や体力的	<sup>勺</sup> 1
	!クシーに頼らざるを得な!		伝車、バイクを使用しているが、	<b>唐</b>
	とのこと)大きいバスに		もとも聞きましたが…。できれば	
	不所持で独り暮らしの方に	<b>ま、まぁーるバス停(東</b> 労	<b>た寺)まで遠いので困っている。</b>	1
車がない。足が悪い				1
川上地域				5
	(曜日に昼1回増。これを うって予定を聞いてあれば)		が2ヶ所以上、川上中央と萩市内と	<del>-</del> 1
ぐるっとバス・路線 ます。	!バス・まぁーるバス等を!	利用すれば大抵の所へ行り	けるので、別に問題はないと思わ	れ 1
			こ行くのに困っている。バスを利 いる。バス停の間隔が近いと良い	
	い為、買い物、病院に行いら病院までが遠いので困		<b>寺っていない。バスを利用してい</b>	る 1
近くの買物、受診、	郵便局等はシルバーカー	を押したり電動カーを利用	用されているが、町まで移動はバ 回と決めて帰られている。	ス 1
田万川地域				9
親戚や隣人に頼んで	いる(遠い所への移動)			1
今はバス停まで何と	か行くことが出来るが、こ	この先、いつ行けなくなる	か分からない。	1
①性に見送地反左 <i>は</i>	の声を持っていたい宣松	老にけ 町内運行の「防」	長バス」益田市行きの「石見交通	"
ス」の両停留所とも ②益田市内の専門医	」、約1.2~1.5kmの遠い をにかかっている人は、益、 、が多い。であるから①の:	距離なので、徒歩で行くの 田市の「石見交通バス」の	Dにもままならず、困っています D停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地	。
ス」の両停留所とも ②益田市内の専門医 で、利用している人 で遠く、不便である ぐるっとバスを利用	」、約1.2〜1.5kmの遠い Eにかかっている人は、益 、が多い。であるから①のご っ。 されている人は、曜日、B	距離なので、徒歩で行くの 田市の「石見交通バス」の 項の問題が出ている③列車 時間が決まっているので、	Dにもままならず、困っています D停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地 行きたいときに行けない。	。 ま 1
ス」の両停留所とも ②益田市内の専門医 で、利用している人 で遠く、不便である ぐるっとバスを利用 小川17区にお暮らし	」、約1.2〜1.5kmの遠い をにかかっている人は、益 が多い。であるから①のご が が多い。であるから①のご が がの独居の方で、車も持たご があるが、車も持たご があるが、で、車も持たご	距離なので、徒歩で行くの 田市の「石見交通バス」の 項の問題が出ている③列車 時間が決まっているので、	Dにもままならず、困っています D停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地	。 ま 1
ス」の両停留所とも②益田市内の専門ので、利用しているるで遠く、不便で利用があるがあるとバスを暮い川17区にお暮らしい物に行くのに通防が、水水を利用して苦労し場でするのに苦労し	」、約1.2~1.5kmの遠い をにかかっている人は、益しが多い。であるから①のこう。 されている人は、曜日、日の独居の方で、車も持たで もっておられる こしているが、途中買い物でいる。通院が益田市内の	距離なので、徒歩で行くの田市の「石見交通バス」の項の問題が出ている③列車時間が決まっているので、ず足が悪いため、バス停息での乗り換えや、バスを降の人が多いため、バスをそ	Dにもままならず、困っています D停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地 行きたいときに行けない。	。 ま 1 買 1
ス」の両停留の両停留の両停留の両内のの両停留の両内のので遠してで遠ってであるるのが、バスはにのでであるるが、川17区にののに行ってで利用に行って苦いるである。ともでは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	、約1.2~1.5 k mの遠い にかかっている人は、益いが多い。であるから①のこう。 されている人は、曜日、日の独居の方で、車も持たでいるが、途中買い物にいるが、途中買い物にいる。通院が益田市内で、多い(便数が少ないため)で、そ利用して石見交通・バスを利用して石見交通・	距離なので、徒歩で行くの田市の「石見交通バス」の項の問題が出ている③列車時間が決まっているので、ず足が悪いため、バス停息での乗り換えや、バスを取の人が多いため、バスを取り。。	Dにもままならず、困っています D停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地 行きたいときに行けない。 こ行くのも、バスに乗って病院や なりてから重い荷物を持って徒歩 利用すると、結局1日ががかりに っているが、道の駅までのぐるっ	。 ま 1 買 1 で
ス」の両停留の両にときという。 の面に 内の面に 内の面に 利用 不可 を 利用 不可 を でで でる つい で で で で る る で が 川 17 区区 く の に で 利 に に 利 の に て 苦 こ る の ま で で の ま で で の い ま で の に ま で の に ま で の に れ の に は 週 ) と な に 週 ) に な の は 週 1	、約1.2~1.5kmの遠い にかかっている人は、益いが多い。であるから①のこう。 されている人は、曜日、日の独居の方で、車も持たでのないるが、途中買い物でいるが、途中買い物でいる。通院が益いため、 でいる。通院が少ないため、で、でいるが、でいる。通院が少ないにものである。で、で、	距離なので、徒歩で行くの田市の「石見交通バス」の項の問題が出ている③列車時間が決まっているので、ず足が悪いため、バス停息での乗り換えや、バスを取の人が多いため、バスを取の人があいため、バスを取り。のバスで益田の病院へは行かれては、病院へは行かれ	Dにもままならず、困っています D停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地 行きたいときに行けない。 こ行くのも、バスに乗って病院や なりてから重い荷物を持って徒歩 利用すると、結局1日ががかりに っているが、道の駅までのぐるっ	。 1 ま 1 買 1 で 1
ス」の両停留の両停留の両にの面に関いてで、一点のでである。 できる がい はい できる がい がった できる がい がった できる がい がった できる	、約1.2~1.5kmの遠い にかかっている人は、益いが多い。であるから①のこう。 されている人は、曜日、日の独居の方で、車も持たでのなおられる こっているが、途中買い物でいる。通院が並ないであり、 でいるでであるが、途中買い物である。 でいる。通院が少ないまでがある。 でいるを利用してそれ以外の場、 には、ないが困る。	距離なので、徒歩で行くの田市の「石見交通バス」の項の問題が出ている③列車時間が決まっているので、ず足が悪いため、バス停息での乗り換えや、バスをの人が多いため、バスをあり。のバスで益田の病院へ行っての日には、病院へは行かれ	Dにもままならず、困っています D停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地 行きたいときに行けない。 こ行くのも、バスに乗って病院や なりてから重い荷物を持って徒歩 利用すると、結局1日ががかりに っているが、道の駅までのぐるっ	。 ま 間 で 1 と 1
ス」の両には、	、約1.2~1.5kmの遠い にかかっている人は、益いが多い。であるから①のこう。 されている人は、曜日、日の独居の方で、車も持たでのなおられる こっているが、途中買い物でいる。通院が並ないであり、 でいるでであるが、途中買い物である。 でいる。通院が少ないまでがある。 でいるを利用してそれ以外の場、 には、ないが困る。	距離なので、徒歩で行くの田市の「石見交通バス」の項の問題が出ている③列車時間が決まっているので、ず足が悪いため、バス停息での乗り換えや、バスを取の人が多いため、バスを取のがっ。のバスで益田の病院へ行っては、病院へは行かれる。	Dにもままならず、困っています D停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地 行きたいときに行けない。 こ行くのも、バスに乗って病院や 峰りてから重い荷物を持って徒歩 利用すると、結局1日ががかりに っているが、道の駅までのぐるっ れない。	。 1 ま 1 買 1 で 1 と 1 を 1
ス」の両時のは、	、約1.2~1.5 kmの遠い にかかっている人は、益いが多い。であるから①のこう。 されている人は、曜日持たでの独居の方でる は、東も時たでいる人ででいる人ででいるが、途中買いでがるが、 でがない、便数がしている。通際が少な見いであるがである。 でがない、で利用したでがないである。 にでいる。では、物ではないでは、 にないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	距離なので、徒歩で行くの田市の「石見交通バス」の項の問題が出ているので、ず足が悪いため、バスをでの乗り換えや、バスをののが。の人がのよいため、バスをののがのよいで、で、ないの時には、病院へは行かれる。	Dにもままならず、困っていますD停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地 行きたいときに行けない。 こ行くのも、バスに乗って病院や なりてから重い荷物を持って徒歩 利用すると、結局1日ががかりに っているが、道の駅までのぐるっ れない。 近所の方々に再三に渡って移動	。 1 ま 1 買 1 で 1 と 1 を 1
ス②ででぐ小いが帰なで、一点を明る人名の田利による。 は、 と区ででの小いでを暮にて苦こる(無人のいででのいでを暮にて苦こる(無人のいが、 に、	、約1.2~1.5 kmの遠い にかかっている人にいるから。 にかかっであるが、電話のでいる人で、 の独居の方でる。 は、車も間にいる人で、 のででいる人で、 のででいる人で、 のででいる人で、 のででいるが、 のででいるが、 のででいるのでが少な見いでは、 でが少な見いででいるでは、 でがから、 でがから、 でがいるのでいるので、 でいるのでいるので、 のでいない。	距離なので、徒歩で行くの田市の「石見交通バス」の項の問題が出ているので、ず足が悪いため、バスを呼びの大が悪いため、バスを呼の人が、のおり、のがのは、たったのに困られ、では、行くのに困られ、もある。とが悪い。とができる。	Dにもままならず、困っていますの停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地 行きたいときに行けない。 こ行くのも、バスに乗って病院や なりてから重い荷物を持って徒歩 可用すると、結局1日ががかりに っない。 近所の方々に再三に渡って移動 くの診療所に行く事がやっと。悪	。 1 ま 1 買 1 で 1 と 1 を 1 いこ 1
ス②ででぐ小いバ帰な回くに転同をな利らしまで、一点のは、と区でででいいが帰なって、とびに、一点のは、では、一点のは、一点のは、一点のは、一点のは、一点のは、一点のは、一点のは、一点の	、約1.2~1.5 k mの遠い をにかかい。でも人からるかい。 でからなが、であるが、であるが、であるが、である人でのかっている人であるが、であるが、でかられる。 は、車もでいるのでのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	距離なので、徒歩で行くの 田市の「石見交」ので、 現の問題が出ているので、 項の問題が悪いため、バスので、 ず足が悪いため、バスス の大が悪いため、バスス の人が、ススへで、 での人が、ススへで、 のようのに困られ、 でのおいことが悪いに行くのに困られ、 はないて出かける。 はないては、 はいでででする。 はないているのにを はないで、 はいでででする。 はいでででする。 はいでは、 はいでは、 はいででする。 はいででする。 はいでは、 といでは、 はいでは、 と、 と、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	Dにもままならず、困っていますの停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地 行きたいときに行けない。 こ行くのも、バスに乗って病院や なりてから重い荷物を持ってりに の制用すると、結局1日ががかりに つない。 近所の方々に再三に渡って移動 くの診療所に行く事がやっと。悪る ない。まぁーるバスは予約する	。 1 ま 1 買 1 で 1 と 1 を 1
ス②ででぐ小いバ帰な道が大きを地上をいまれている。 は、 この田利られて、 と区行利るしまで、 がったですが、 は停のいでを暮にて苦こる(無気が力が、 かっにはがったですり、 これが、 はいり、 はいり、 はいり、 はいり、 はいり、 はいり、 はいい、 はいり、 はいい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 は	、約1.2~1.5 k mの遠い をにかかっている人が、 をいかってあるが、 でかれている人で、 でかれている人でも、 でかれている人で、 でかれているが、院が少ないでいる。 でが少なのでがかいでが、 でがかいでが、 でがかいでが、 でがかいででが、 でがかいででが、 でがいかでででいる。 でがいかでででいる。 でがいかでででいるが、 ででいないでででいる。 ででいるのででででいる。 ででいるのででででいる。 ででいるのででででいる。 ででいるのででででいる。 ででいるのでででいる。 ででいるのでででいる。 ででいるのででででいる。 ででいるのででででいる。 ででいるのででででいる。 ででいるのでででいる。 ででいるのでででいる。 ででいるのでででいる。 ででいるのでででいる。 ででいるのででいる。 ででいるのでででいる。 ででいるのでででいる。 ででいるのでででいる。 ででいるのでででいる。 ででいるのででいる。 ででいるのででは、 ででいるのででは、 でいるのででは、 でいるのででは、 でいるのででは、 でいるのででは、 でいるのででは、 でいるのででは、 でいるのででは、 でいるのでいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでいるのでは、 でいるのでは、 でいるのでいるのでは、 でいるでいるでいるでいるでいるでいなでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるで	距離なので、徒歩で行くの 田市の「石見交」ので、 現の問題が出ているので、 項の問題が悪いため、バスので、 ず足が悪いため、バスス の大が悪いため、バスス の人が、ススへで、 での人が、ススへで、 のようのに困られ、 でのおいことが悪いに行くのに困られ、 はないて出かける。 はないては、 はいでででする。 はないているのにを はないで、 はいでででする。 はいでででする。 はいでは、 はいでは、 はいででする。 はいででする。 はいでは、 といでは、 はいでは、 と、 と、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	Dにもままならず、困っていますの停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地 行きたいときに行けない。 こ行くのも、バスに乗って病院や なりてから重い荷物を持って徒歩 可用すると、結局1日ががかりに っない。 近所の方々に再三に渡って移動 くの診療所に行く事がやっと。悪	。 1 ま 1 買 1 で 1 と 1 を 1 いこ 1 1
ス②ででぐ小いバ帰な一つのに転回をな利し、と区ででなり、いが帰なでは、一点ののは、と区でででいいが帰なって、と区でででいいが帰なって、は停のいでを暮にて苦こる(に転回をな利が出口にはががれて、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では	は、約1.2~1.5 kmの遠い。 をにかかい。でも人からのであるが、であるが、であるが、であるが、であるが、であるがでいる方でのでかれているが、でかれている。のでは、車ものでは、車ものでは、では、車・のでは、では、車・のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	距離なので、徒歩で行くの 田市の「石見交通バス」の 項の問題が出ているので、 項の問題が悪いため、バス 等での乗りかた。 での大が悪いため、バスス での大が悪いため、バスス のよう。 のがが悪の病へは、行っているののののがののがののに困られ、 のがのに困られ、 のには、行くのに困られ、 はないているのにをがでいる。 はないているのにをがでいる。 はないでは、 はないと、 と、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 と、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はな。 と、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はない。 はないと、 はないと、 はないと、 と、 はないと、 はないと、 と、 はなと、 はなと、 はなと、 はなと、 はなと、 はなと、 と、 はなと、 はな	Dにもままならず、困っていますの停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地 行きたいときに行けない。 こ行くのも、バスに乗って病院や なりてから重い荷物を持ってりに の制用すると、結局1日ががかりに つない。 近所の方々に再三に渡って移動 くの診療所に行く事がやっと。悪る ない。まぁーるバスは予約する	。 1 ま 1 買 1 で 1 と 1 を 1 に 1 1 1 1 1
ス②ででぐ小いバ帰な道が大きを地上を明るあ用られる。 (無免地 とのあり と ででぐかいが帰なしま週が方さり をな利んまをいれている。 (無見地 をな利んまをいれている。 (無見地 をな利んまをいれている。 (無見地 をな利んまをいれている。 (無見地 をな利んまをいれている。 (無免地 とればいまでがは、 こいり 利のまで 1 にはいばいれているに利いる。 (無免地 といれているに利がする。 (無免地 といり 利のでは、 こいり 利のでは、 にいり 利のでは、 にいり 利のでは、 にいい はい は	は、約1.2~1.5 kmの遠い。 をはかかい。でも人からいである。 は、かかい。でも人がのでいる人がでいるの方でも、人でものかれているが、にかられる。 は、車ものででがかない。 は、車ものでは、車・のででが、できるが、では、でのででででででででででででででででででででででででででででででででで	距離なので、徒歩で行くので、 田市の「題が出ているので、 項の問題が決まっため、バスので、 ずでの乗りいるのなが、ババが悪いたが悪いたが悪いたが、が、ババが悪が悪り換れための病へは、が、ババが、のののののがのが、が、が、が、ででののが、ないに、行くのには、行くのには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	Dにもままならず、困っていますの停留所が各専門の近くにあるの 車利用は、益田駅からの各目的地 行きたいときに行けない。 こ行くのも、バスに乗って病院や なりてから重い荷物を持ってりに の制用すると、結局1日ががかりに つない。 近所の方々に再三に渡って移動 くの診療所に行く事がやっと。悪る ない。まぁーるバスは予約する	。 ま 1 買 1 で 1 を 1 を 1 いこ 1 1

不 <b>是</b> 此是	1.5
■ 須佐地域 7区の方は、バスの通る道路まで出るのに時間がかかる。雨の日とか悪天候の日は困っている。	15 1
独り暮らしの方が老人カーで3km以上あるバス停に出ている。2人暮らしの方が病院に行くため、あまり	-
歩けないので車を雇っている。	1
独り暮らしで車を持ってない人が病院、買い物に行くのに須佐以外に行く時、時間的、身体的(足腰が痛	
い)な面で困っている。	1
グラス に回っている。 ぐるっとバスがあるが利用しずらい。①利用方法の周知②乗下車が公共的機関と限られている③便利が悪	
い。待ち時間が長い(行きと帰り)	1
病院が地区外なので、交通費がかさむので困っている(整形外科、耳鼻科)。	1
バスの通らない地区なので、お年寄りが歩きや自転車、タクシー利用などの方が多い。雨が降ると大変と	
いう話も聞きます。	1
電車の本数が少ない。	1
一人暮らしで車を持たない。	1
独り暮らしの方が車を持たず、買い物や病院にいくのに困っている。タクシーを利用したり、ぐるっとバ	
スを利用している。汽車に乗っての買い物病院に行く場合、階段が辛い。	1
益田市、宇部市の病院に通うのは人に頼むようになる。その時買い物をして帰る。	1
日常の買い物について足が悪いのでキヌヤに行くにも苦になる。手押し車などでどうにか行ける人。知人	
に頼んで買ってきてもらう人。市外への外出について(病院・買い物)。近隣に住んでいる子どもに来て	1
もらう・タクシー券を利用しているが、枚数に限りがある。汽車を使っても便数が少ないので不便。	•
駅やバス停までの距離があり、自家用車を持たない世帯はタクシーを利用している。回数が多くなけれ	
ば、代金もかかるか、お金を払えば、気がねなく呼び使用することができる。介護認定を受けられた人	
は、ディサービス、ホームヘルパー制度の利用で買い物や郵便局など連れて行ってもらえる。給食サービ	1
スを利用すれば買い物の回数も減らせている。公共のバスは利用したくても解からないので利用していな	
l,	
病院に行くのに、萩、益田へは車があっても高齢の為不安(運転に)がある。バスの便が少ないし、汽車	
(電車) も同じ。また乗降に不安がある。	1
高齢者の多い地区であり、バスを利用する際も遠いので徒歩で行くも辛いという方が多い。	1
地区に住んでいる一人暮らしの高齢者は車もなく、また路線バスも廃止され、バス停までの移動は遠く困	
難である。県外通院は病院で曜日を合わせてもらうようにお願いし、声かけなどして一緒に移動をしてい	1
る。	-
旭地域	7
バス停が歩いて行くのには遠い。自宅前まで萩市のバスが来てくれると良い。萩市民病院へ行くのに便利	- 1
が悪い。	1
独り暮らしの方。車を持たない方。バス停が遠い。バス賃が高い。	1
地区に住んでいる独り暮らしの方が車を持たず、バス停も遠いため、買い物・病院に行くのに困っている	1
まぁーるバス利用。	1
買い物はJAの移動販売を利用されて、病院等はぐるっとバスを利用され、その時にもJAで買い物等を利用	1
しているようです。	1
山口の病院に行くにもバスの便が少ない。	1
自宅からバス停までの移動が難しい。	1
福栄地域	10
通院や買い物で市内に行くのにバスを使うが、本数も少なく運賃も高い。また、市内でバスを降りた後も	1
移動が大変なようです。	ı
高齢の為運転免許を返納したが、週一回のぐるっとバスだけの外出となった。	1
福栄地区の中心に位置している為、役場、診療所、郵便局、農協等の公共施設に近いので何とかなってい	1
る。また、押原地区は、バスは走っているが、便数が少なく利用しにくい。	ı
一人暮らしで車を所有していない方。	1
小西見地区でバス停まで2km程度ある。自家用車がない、独り暮らしの方が買い物病院に行くのに困っ	1
ている。ぐるっとバスもあるが、公会堂まで1.5km程度ある	'
運転免許がなく、公共交通手段がなく、タクシー利用者がかなりおられる(特に仁保谷)。ぐるっとバス	1
は旧村内だけで医療・買物が十分にできない。	'
病院にバスで行こうと思っても、バス停までの距離があるので、電動カーで移動、転倒等危険なことが	1
あった。バスの時刻が限られている。	'
急病など(救急車を呼ぶ程ではないとき)の時。バスの便が少ない。	1
バスの本数が少ない。運賃も高い等の理由で、旧萩市内での買い物や通院に負担が大きい。	1
旧萩市の病院等に通院されるのにまぁーるバスと防長バスを利用して行かれているが、ま;ぁーるバスが	1
毎日無いため困っている。	ı
不明	2
病院等に行くのに足の不自由な人はバス停まで遠く困っている。他にタクシーを利用するのみ。経費がか	1
かる。	'
医療機関への移動が困る。	1
総計	110

3

(4)担当地区内で近所の方など地域内で移動に関しての「助け合い(買物支援や通院支援等)」をおこなっていま:	すか?
萩地域	
①車を持っているかたが多いのでまだ自分で行っている。 ②バス、タクシーで行って	いる 1
ごく一部であるが、車を持っている人に買い物を頼んだり、便乗したりしている様であ	
ごく一部の方で、友達の車に同乗し、買い物に行っている。	
たまに近所で出かけられる事がある	1
たまに買い物を頼まれる。身体が不安定なので郵便局まで付き添う。	1
外にいる子ども、親戚の者が買い物支援に来る。	1
近所に若い人で車を持っている人に、病院や買い物にお願いしている(何らかの御礼を	
近所に商店があり電話で注文したらお店の方が自宅まで配達をして頂けるので、大いに	
れております。特に食事のメニュー作ってくださる。親戚の方の車で病院等行っておら	れる方も少人数あ 1
ります。	
近所の車を持っている方に買い物等頼んでいる。	1
	-
近所の人や親戚の人に声をかけて買い物に行っていることも聞いています。地域の「ぐ	るっとハス」でお <sub>1</sub>
試しで6月は市内へ買い物に出かけたと聞いた。運転手・スタッフ2人で。	· ·
近隣、家族訪問の時、週1回、2回程度。	1
個人的にされている場合は把握できていません。	1
個人的にはあるが、全員というわけではない。	
交通手段のない人は、スーパーの宅配などを利用している人がいる。	1
高齢者同士の助け合いは有るが、限度がある。運転をしていた者が骨折等で動けなくな	り助け合うことが <sub>1</sub>
できなくなったこともある。	
最近(老人クラブ活動)に参加のための移動中の事故発生。大変な事故で、助け合いで	の支援はしていた
	の又接はしていな 1
	1 - 1 - 1 - 2
市内で別世帯の子どもさん(娘さん)が週に2~3度来られてその時お付き合いの深い方	も乗せてあげてる <sub>1</sub>
みたいです。	ı
私自身74歳で運転していても不安な時がありますので、人に乗りませんかと言いたくて	も言えません。中
には近くの親戚の方にお願いする。必ずお礼をしているとの事です。年をとってもせめ	
	て好きなように買 1
い物をしたい。	
自家用の便などを貸している。	1
自動車所有の方が、行き先・所用が同じ場合、声をかけて同行している。	1
十分に把握は出来てないが、助け合い支援等のサポート体制を聞いたことがない(ディ	サービス等有償の
	1
ものについてはあるようである)。	
乗り合いなどがないので、まぁーるバスだけが頼りになっている。	1
親戚や子どもに頼んでいる。	1
担当地区で考える必要があると思う。	1
地域内でのぐるっとバスはあるが予約制で、三見から出れず効果はない。	i
	•
地区としての助け合い制度のようなものはありませんが、個人的に足の不自由な方のた	のに、日常的に貝 1
い物をしてあげられる方はおられます。	·
地区社協を9/1に設立し対応が考えられます。地区内の移動限定付の9人集合バスの配置	量あるものの、今 (
後は広く活用できる回るバスであってほしい。	
地区社協を立ち上げたのでいまから検討していく。	1
町の中でスーパーなどが近くにある。総合病院も近くにある。	
日常は自分で買い物に行くが、行けないときは近所の方に声をかけてお願いしている。	1
買い物で車を出す。	1
川上地域	
外出する人同志が声を掛け合って、足の不自由な人を手助けをされている。	1
乗合などがないので、バスだけが頼りになっている。	1
田万川地域	8
①車所有者が、近所の人に声を掛けて、買い物や病院または近く(と言っても1.2~1.5	
る)のバス停まで連れて行っている。時には欲しい物を買ってきてあげている。②但、	上記の場合、車所 1
有者がその方面へ行く時の「ついでに」が多いようだ。③「ぐるっとバス」の利用状況	
自家用車を運転できる高齢者が、隣近所や友人で免許のない人の買い物や通院を支援す	
車の運転をされる人が近所の人に頼まれて、JAや郵便局また益田の病院などに行ってお	
車を持っている方が、関係良好な近所の方に声をかけて、買い物や病院に行く場合があ	る。 1
上記の通り・他地区で車を持っている方が近所の方に声を掛けて病院に行っておられる	が、運転者も高齢
であり心配な面もある。	7、连载省 0 同剧 1
ーー にめり心にな出りめる。 中の良い方々は声を掛け合って一緒に買い物などに行っているようですが、近所の方で	+ かかたん言い
	も、なかなからい 1
づらい、お願いしにくいのも現実です。	
買い物の際声をかける。知人のお見舞いへ行く時。	1
民生委員がコープ商品を毎週独り暮らしの方に届けています。	1
むつみ地域	4
車の事故が気になり、近所での助け合いはほとんどない。	1
車を持っている人が一緒に病院へ行ったり、ついでに買い物もする。診療所にはまぁー	るバスを利用する 1
人も。買い物は移動販売を利用する人も。	
	ı
仲良しの方たち同士で誘い合っておられる。	1
仲良しの方たち同士で誘い合っておられる。 買物に行くとき、足のない人や高齢者世帯の人にいるものはないかを聞いて買ってきて	1 おげている   毎時
仲良しの方たち同士で誘い合っておられる。 買物に行くとき、足のない人や高齢者世帯の人にいるものはないかを聞いて買ってきて も声掛けして一緒に行っている。	1

須佐地域	
NPO法人の「もやいサービス」があるが、支援者の不足等で困難。ぐるっとバスの利用。	1
でっぴん会のお出かけGOにて(一部)有料にてサービスを提供している。萩市住宅主体サービス実施団体	1
(通所型サービスB、訪問型サービスB)通院、ゴミ出し、草刈り等。	'
車があり免許を持っている人が声かけをして買い物や通院の移動に協力している。	1
車を持っている方が、近所の方に声をかけて買い物に行っている。	1
車を持っている方に頼み買い物や病院に行っている。	1
上記と同じ、病院に行くため車を雇っている。	1
知人や親類に頼んでいるが、無料とはいかず、少し負担になっている。	1
買い物や病院。	1
買い物通院は一緒にするようにする。	1
病院の受付が間に合わない時はタクシーや近所の方や親戚の方に助けてもらっている。	1
弥富でっぴん会という組織において取り組んでおります。	1
	5
一人暮らしの方は農協の出張販売等で賄っています。	1
困っている方に頼まれたら買い物の支援をしていますが、通院支援はしてあげたいが、もし事故のことを	1
考えればこちらからは進んではできない。通院はぐるっとバスを利用されている。	'
車を持っている方が、近所の方々に声をかけて買い物や病院に行っている。	1
人を乗せての事故が怖い。	1
地域の行事には送迎をする。近所の方が病院に連れていく。他はバスだけが頼りになっている。	1
福栄地域	4
近所で親しくされている方に、買い物、病院に行くとき、声をかけている。バス停は遠いがぐるっとバス	1
は各集落の公会堂で乗り降りができるので、JAでの買い物、診療所へは利用が多い。	
現在は、移動に困っている方はあまりおられないが、10年後は、移動に困る方が増えてくると思われる。	1
少人数ですが近所の人が買い物通院の支援を行っておられます。	1
特には行っていません。	1
不明	
<u>買物はJAの移動販売車や、生協利用。タクシーを利用。病院が送迎している所利用。</u>	1
総計	66

# (5) 課題【路線バスや列車が行きたいところへ行かない】 (3) と同じ(車は持たない一人暮らしの方が、買い物や病院などに行くのに困っている。バスを利用し ているが、行きたい施設の近くにバス停が無く困っている。また、目的地までルートにより遠回りするた め所要時間が長く困っている。 かかりつけの病院の近くに止まらない。 バスが一方通行なので利用がむずかしい。路線を理解するのに熟練がいる。 バスセンターから病院あるいはスーパーまでの足。 バスの方は割と目的地に近い所で停車するので良いと思うが、列車は萩市の外回りなので不便さは大であ る。今は「まわるバス」もあるので市内は良いですが、我達は市内外れの為不自由を感じる。 バス停が国道沿いにだけでなく地域の中に入ってきて欲しい(バスを小型にする)。 まぁーるバスが来ていない。 まぁーるバスのバス停(シーマート)まで遠い家で10~15分程。 まぁーるバスの行かないところがある。 まわるバスを利用するのだが、目的地へ行く便はいいが、帰る便は市を大回りするので、時間がかかる。 掛かり付け医の病院に行くのにバス停から病院から歩くのが大変。(まぁーるバス利用者)(江向)市街 地へ買い物へ出かけたいが容易に行けない。 個人の好みで、病院、スーパーが違う。どうにかなりませんか。 公共交通を利用すると、行く病院や店が限られてしまう。 市のまわるバスがもう少し停留所を増やして欲しいということをよく聞きます。歩く距離が少なくて助か 市内のスーパーマーケットや、病院、介護施設へ行くのに容易には行けない。 市内巡回バスが通っているが行きは10分で行けるが、帰りは50分くらいかかるのでタクシーを使っておら れる方が多い。 総合病院やサンリブ、アトラス等のよく行く店のすぐ近くに停めて欲しい。 通院の医療機関へ行けない。 到着の停留所から目的地までの移動が難しい。 目的地まで時間がかかりすぎる(まわるバスの場合)同じコースで逆回りがあれば良いと思う。 例えば、御船倉乗場と書いてあっても、観光客は全く違うところで降ろされている感じがあるそうです。 名前の通りの場所で降ろしてほしい。 列車の駅が遠いし、自動で切符を買うのが分からない。 列車の昼間の便がなくなり、地域の要望によりバス4便が近年運行しているが、更に何らかの増便が必要 です。 路線が全て大まかであり、本数も少ない。 路線バスを延長して欲しい方もおられる。 アトラス店に行きたいが、バスの時間帯が合わあないので行けない。 バス停の間隔を増やして欲しい。 益田市のイズミ益田店とかたまに行ってみたいが容易に行けない。 益田市内の病院に行っても朝出て、夕方帰れる状況で1日かかる。 主に益田市内の専門医にかかっている人は、益田駅から各医院までの距離があるので、列車の利用はほと んどない。また、江崎駅まで行くのにも不便である。 通院、買い物。 病院、大型スーパーが地区外である事で課題が多くあるように思う。 1 (自分の行きたい) お店、病院の前では止まらない。どうしても歩くことが前提になる。 ぐるっとバスが公共的機関のみ乗下車できる。生活必需品の店へは可能としてもらいたい。 益田日赤へ行く物に「万人」が表示している。 萩市内へ行く路線バスが須佐方面迄来ない為、列車を利用するようになる。 列車から降りて病院までタクシー代がかさむ。 路線バスがなくなった。 路線バスが通らない、駅までの交通手段がない。 公共路線バスより、枝道で遠く、ぐるっとバスを利用しても時間的、また乗継等で萩市内に行くのには苦 労が多い。 萩市民病院への行き帰りが不便。 スーパー、病院。 時々バスの通らない(乗り替えで可能)所にも行ってみたい所もある。 病院等へ行くのに乗り換えが必要な事がある。 防長バス―萩センターからの移動。 目的地までは行かない。 総計 46

#### (5) 課題【バス停(乗り場) や駅が遠い】

萩地域	26
スーパー丸和まで15~25分、コスモスまで10~15分、シーマートまで10~15分。	1
	- 1
バス停が少ない。	1
バス停に行くにしても、そこまでタクシーを利用して行っているのが見られる(路線バス利用者)。	1
バス停までは坂道、駅までは遠い。	- 1
まぁーるバスの乗り場は町内に一箇所なので、反対地域の方は遠いと思われます。	1
まぁーるバス以外は西区にありますが、それは反対側のバス停。	1
駅構内に大小の踏切があり道路拡張など、そのために今までと通れていた近道も封鎖され遠くなった。	不 .
— · -	' 1
便である。	
遠ければ近くにすればいいじゃないですか。地区によっては本当に遠いです。誰もが年を取っていくの	で
	` 1
す。行政の方はこの事を考え市民の為、良いアイデアを思いついてください。	
河内、笠屋地区は1番近いバス停が2km以上離れており、歩いての移動が難しい。	1
河内地区は駅が遠い。	1
	1
回るバスは30分間隔であるがバス停までが遠い(少し)。また買い物に出る時は乗ることもできるが	. 4
荷物があるととても無理。	ı
11.00	-
近い人、遠い人ある乗り場まで歩くのがつらいと言われる。	I
江向1区地区は萩駅・東萩駅まで行くのが困難なので利用していない。	1
高齢者で足腰の悪い人が多く、バス停まで1km弱あるので苦労している。	1
高齢者には酷である。	1
最寄りのバス停までに距離がある。路線の見直しをし、買い物等で気軽に利用出来る様にして頂きたい。	I
坂道が多い為、バス停までが歩行が困っている。	1
	1
自転車に乗れる人はまだいい方ですが、足が悪くて歩く人には無理だと思います。	I
乗降するまではどうにかなっても、買い物をして帰った場合がとても大変なことになってしまう。	1
大きな通りでないとバス停がない。	1
	I
椎原地区でのまぁーるバスなどのバス停はいずれも地区の外れにある。地区内の道幅は狭いという悪条·	午 1
がある。	I
椿東・長山地区ではまぁーるバスの停留所が約1km離れており、移動に時間がかかる。	1
当地区はスーパー丸和の前のバイパス通りがバス停となっている。人家の多い旧道側の通りにバス運行	
	1
コースとなって欲しい(まぁーるバス利用者)。	
平安古西区の1は、バス停が国道191号にしかなく離れており、買い物等をして荷物を持っての移動が難	
	1
ιν <sub>°</sub>	
明石地区は三見駅まで約3kmあり、利用が難しい。	1
	<u> </u>
列車や市外に出れるバスに乗るために乗り場までタクシーや自家用車を使っている。	<u> </u>
川上地域	3
	1
川上横坂地区では、バス停が遠くて利用しにくい。	
	•
川上地域内は、ぐるっとバスがあるが、秋市内の病院に行く時はバス停まで1km位離れているので移曳	J 4
川上地域内は、ぐるっとバスがあるが、萩市内の病院に行く時はバス停まで1km位離れているので移動が大変、Rが悪いので	1
が大変。足が悪いので。	
	1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。	1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域	1 8
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい	1 8
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい	1 8
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。	1 8
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。	1 8
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。	1 8
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。	1 8
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3 区バス停まで2~3 km離れているので、バスは利用できない。	3 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 13区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。	1 8
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 13区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。	1 8 3 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川162地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を	3 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を 持っては歩くのが難しい。	1 8 3 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を 持っては歩くのが難しい。	1 8 3 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を 持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。	3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっているで交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れて	1 8 3 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を 持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。	3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっているで交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。	3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっているので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川18区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。	3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 3
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっているで交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川18区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。	3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっているで交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川18区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。	3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 3
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっているので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっていので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3 区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 ************************************	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっているので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっていので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域	1 8 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区がス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっていので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域	1 8 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2 k m離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっているで交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3 区バス停まで2~3 k m離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5 k m離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停までの移動が難しい。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2 k m離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっているで交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3 区バス停まで2~3 k m離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5 k m離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停までの移動が難しい。 バス停までの移動が難しい。 バス停まで歩いて出ている(2 k m位)。 よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタク	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2 k m離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっているで交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3 区バス停まで2~3 k m離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川18区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5 k m離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停までの移動が難しい。 バス停まであいて出ている(2 k m位)。 よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2 k m離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっているで交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3 区バス停まで2~3 k m離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川18区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5 k m離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停までの移動が難しい。 バス停まであいて出ている(2 k m位)。 よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2 k m離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっているので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区バス停まで2~3 k m離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川18区では、バス停まであるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川18区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5 k m離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停までの移動が難しい。 バス停までの移動が難しい。 バス停までの移動が難しい。 メその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。 駅やバス停までが遠い。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2 k m離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっていので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3区バス停まで2~3 k m離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川18に15.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川18区では高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5 k m離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停までの移動が難しい。 バス停までの移動が難しい。 バス停までの移動が難しい。 バス停までかて出ている(2 k m位)。 よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。 駅やバス停までが遠い。 高齢者はバス停へ行く迄の距離が遠いので利用しにくい。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2 k m離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっていので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3区バス停まで2~3 k m離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川18に15.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川18区では高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5 k m離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停までの移動が難しい。 バス停までの移動が難しい。 バス停までの移動が難しい。 バス停までかて出ている(2 k m位)。 よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。 駅やバス停までが遠い。 高齢者はバス停へ行く迄の距離が遠いので利用しにくい。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっていので交通量は多い。バスは通っていない。バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。小川13区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。小川14区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停まで多動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停までの移動が難しい。 バス停までの移動が難しい。 バス停まであいて出ている(2km位)。よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。 駅やバス停までが遠い。 高齢者はバス停へ行く迄の距離が遠いので利用しにくい。 足の悪い方などがバス停まで遠いと大変。駅もバスを利用しないと行けないので大変。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2 k m離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっていので交通量は多い。バスは通っていない。バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。小川13区バス停まで2~3 k m離れているので、バスは利用できない。小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5 k m離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停まで歩いて出ている(2 k m位)。よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。駅やバス停までが行く迄の距離が遠いので利用しにくい。 足の悪い方などがバス停まで遠いと大変。駅もバスを利用しないと行けないので大変。防長バス停までが長い(上三原 堀田)(約2 k m)。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2 k m離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっていので交通量は多い。バスは通っていない。バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。小川13区バス停まで2~3 k m離れているので、バスは利用できない。小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5 k m離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停まで歩いて出ている(2 k m位)。よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。駅やバス停までが行く迄の距離が遠いので利用しにくい。 足の悪い方などがバス停まで遠いと大変。駅もバスを利用しないと行けないので大変。防長バス停までが長い(上三原 堀田)(約2 k m)。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2 k m離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっていので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区パス停まで2~3 k m離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5 k m離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停まであり動が難しい。 バス停まで歩いて出ている(2 k m位)。 よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。 駅やバス停までが遠い。 高齢者はバス停へ行く迄の距離が遠いので利用しにくい。 足の悪い方などがバス停まで遠いと大変。駅もバスを利用しないと行けないので大変。 防長バス停までが長い、(上三原 堀田) (約2 k m)。 路線バスが廃止となり次のバス停までが遠く、移動が困難である。徒歩でも30分以上かかってしまう。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、パス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありパス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区パス停まで2~3km離れているので、パスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川18区では、バス停まで5いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いパス停が路線の「防長パス」、益田市行きの「石見交通パス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のパス停までの移動が難しい。 まり、高齢者のパス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆パス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停までの移動が難しい。 バス停まであいて出ている(2km位)。 よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。 駅やバス停までが遠い。 高齢者はパス停へ行く迄の距離が遠いので利用しにくい。 足の悪い方などがパス停まで遠いと大変。駅もパスを利用しないと行けないので大変。 防長バス停きでが長い(上三原 堀田)(約2km)。 路線パスが廃止となり次のバス停までが遠く、移動が困難である。徒歩でも30分以上かかってしまう。 他地域	1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2 k m離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっていので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川13区パス停まで2~3 k m離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5 k m離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停まであり動が難しい。 バス停まで歩いて出ている(2 k m位)。 よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。 駅やバス停までが遠い。 高齢者はバス停へ行く迄の距離が遠いので利用しにくい。 足の悪い方などがバス停まで遠いと大変。駅もバスを利用しないと行けないので大変。 防長バス停までが長い、(上三原 堀田) (約2 k m)。 路線バスが廃止となり次のバス停までが遠く、移動が困難である。徒歩でも30分以上かかってしまう。	1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、パス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 むつみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停まで歩いて出ている(2km位)。 よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。 駅やバス停までが遠い。 高齢者はバス停へ行く迄の距離が遠いので利用しにくい。 足の悪い方などがバス停まで遠いと大変。駅もバスを利用しないと行けないので大変。 防長バス停までが遠い。 高齢者はバス停へ行く迄の距離が遠いので利用しないと行けないので大変。 防長バス停までが遠い。 高齢者はバス停までで遠いと大変。駅もバスを利用しないと行けないので大変。 防長バス停までが遠い(上三原 堀田)(約2km)。 路線パスが廃止となり次のバス停までが遠く、移動が困難である。徒歩でも30分以上かかってしまう。 地域域 上長瀬、舞谷地区はバス停までの便利が悪く、高齢者は大変です。	1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっていので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川1 3区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川 16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川 1 3区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川 16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川1 3区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 でのよい方のよいでは1番近いが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停までの移動が難しい。 バス停まで歩いて出ている(2km位)。 よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。 駅やバス停までが遠い。 高齢者はバス停へ行く迄の距離が遠いので利用しにくい。 足の悪い方などがバス停まで遠いと大変。駅もバスを利用しないと行けないので大変。 防長バス停までが長い(上三原 堀田)(約2km)。 路線バスが廃止となり次のバス停までが遠く、移動が困難である。徒歩でも30分以上かかってしまう。 地域が 上長瀬、舞谷地区はバス停までの便利が悪く、高齢者は大変です。 矢代地区はバス停まで遠い(タkm)。 パス停の数が限られている為足の不自由な人等大変。 折切、1部には、2年であるのが困難。	1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。  H7川地域  12区は1.5~2 k m離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がっていので交通量は多い。バスは通っていない。バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。小川 1 3 区がス停まで2~3 k m離れているので、バスは利用できない。小川116.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。小川18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。小川8区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。  「展神地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5 k m離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 つみ地域 若い人は1mは遠いと思わないが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須(たまず) バス停までの移動が難しい。バス停までの移動が難しい。バス停までの移動が難しい。バス停までが遠い。とまの地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。駅やバス停までが遠いと大変。駅もバスを利用しないと行けないので大変。防長バス停までで遠し、上三原 堀田)(約2 k m)。路線バスが廃止となり次のバス停まで透いと大変。駅もバスを利用しないと行けないので大変。防長バスが廃止となり次のバス停までが遠く、移動が困難である。徒歩でも30分以上かかってしまう。地域が、吉部、肩前、矢代、見定下切等は公共が市道まで入らず、バス停まで遠い。新切い、古部、同前、矢代、見定下切等は公共が市道まで入らず、バス停まで遠い。	1
が大変。足が悪いので。 長谷地区は、バス停まで遠く利用しにくい。 田万川地域 12区は1.5~2km離れている地区もありバス停までの移動が難しい。又、農道が弥富地区に繋がってい ので交通量は多い。バスは通っていない。 バス停が遠いので、そこまでの手段がない、歩いていくのが難しくなる。 国道沿いに自宅のある人はまだ良いが、高齢者にとってはたとえ100mでも歩いての移動は困難になる。 小川1 3区バス停まで2~3km離れているので、バスは利用できない。 小川16.17.18区は防長バス停にはどの地区も遠く、石見交通を利用される方が多い。 小川4区地区は高台にあるため、バス停まで行きは下りで帰りは坂道上りになるので、買い物の荷物を持っては歩くのが難しい。 小川8区では、バス停まで歩いて30分以上かかり、高齢の人には行く事ができない。 尾浦地区は1番近いバス停が路線の「防長バス」、益田市行きの「石見交通バス」共1.2~1.5km離れており、高齢者のバス停までの移動が難しい。 でのよい方のよいでは1番近いが、高齢者(特に足の悪い方)は100mでも遠いようである。 地域が広く過疎が進んでいるので、皆バス停まで遠い。特に冬は最も不便。 利用したい時間帯に運行ダイヤが無い。 須佐地域 バス停までの移動が難しい。 バス停まで歩いて出ている(2km位)。 よその地区に比べれば近いと思いますが高齢者にすれば遠く感じられるかもしれません(駅まではタクシーや近所の方に乗せていってもらってる方も多い)。 駅やバス停までが遠い。 高齢者はバス停へ行く迄の距離が遠いので利用しにくい。 足の悪い方などがバス停まで遠いと大変。駅もバスを利用しないと行けないので大変。 防長バス停までが長い(上三原 堀田)(約2km)。 路線バスが廃止となり次のバス停までが遠く、移動が困難である。徒歩でも30分以上かかってしまう。 地域が 上長瀬、舞谷地区はバス停までの便利が悪く、高齢者は大変です。 矢代地区はバス停まで遠い(タkm)。 パス停の数が限られている為足の不自由な人等大変。 折切、1部には、2年であるのが困難。	1

金峯地区が遠い(2km)。	1
- 一	公 1
仁保谷地区は一番近いバス停が5km程度ある。	1
当地区は、路線バス停までの距離が数km(3~6km)と遠く利用しにくい。	1
路線バス乗場に出るまでが遠いため方法がない。火、木曜日の回るバスのみである。	1
不明	1
バス停まで徒歩で行くことは困難である。	1
総計	59

# (5) 課題【運行ダイヤが利用しにくい】 1時間に1本程度なのでもう少し間隔が短くなれば良い。 1時間に2回で時刻が決めてあるので覚えやすいが、方向を理解しないと乗りにくい。 30分間隔に運行しているが一定方向しかなく、反対回りがないので、時間がかかる。 タクシーを利用しないと受付に間に合わないとのこと。 バスの運行時刻の間隔が長い。まぁーるバスのコースが長いため目的までの所要時間が長くなる(バスの 台数を増やしてコースを増やし、所要時間を短くするなど工夫)。 バスの回数を増やす事。 バスの時間によってはない場合があり、せめて1時間に1本はどの時間帯もあった方がよい。 バスは時間が掛かり、半日で中々用事が済まされない。 まぁーるバスを使っても行きは良くても帰りが時間がかかり過ぎる(又は逆)。病院の予約時間にうまく 合わない。 運行ダイヤが少ない。 運行ダイヤの本数が少ない。 学生中心に考えてあるのか、昼間の運行が少ない。 午前中に外出、帰宅できない。運行ダイヤによっては、病院の受付に間に合わない場合がある(まぁーる バス利用者) 行きはバスで行っても帰りはタクシー等で帰らなければならない。 山陰線は朝と夕の通学、通勤時間は1時間ごとあるが、昼間が全くなし。病院に行けても帰りの時間が無 いので不便と聞いている。 市内バスセンターまでの運行で1~2時間間隔で乗継等不便である。 生活の必要に合わない。 地域住民のニーズに合っていない。 朝・夕に1便(月・水・金は昼も1便)しかなく、非常に利用しにくい。 長門方面の通院等もあり、昼間バスに長時間乗るのもおっくうである(ぐるっとバスの予約も難しい)。 東廻り、西廻りといわれても、乗ったことのない人には良く分からない。数年に1度でもしっかりバス停 と回り方が分かるものを市報でも出してほしい。 病院や買い物が1日仕事になってしまい、疲れてしまう。 本数が少ないので。 路線バスはバス停は近いけれど、運行ダイヤが1時間1本程度。 出かけるときは数箇所行きたくても、バスの時間に間に合わない。 診療所受診時、学校便を利用すると開いていない。夏は外で待っているが、冬は対応を考えている。 運行数が限られているので通院でも1日がかりになる(益田市への通院が多い)。 午前中に出ても帰宅は夕方になる。 江崎駅発着の列車のダイヤとバスの運行時刻が合っていない事もある。 病院、買い物で少し遅れると次のバスの時刻までが長すぎ、時間を持て余すことがある。 列車の運行本数を増やして欲しい。 列車の本数が少ないため利用しにくい。 1日仕事になる。 個々の思いがあるので難しい。ぐるっとバスは帰りの待ち時間が長いので問題の様だ。 自分の時間帯に合わせにくい。 行と帰りの時間が長い。毎日ではない(ぐるっとバス)。鉄道の便数が少ない。 市外の病院に行って帰るまで1日がつぶれる。 須佐にあんまに行くが帰りの便が悪い。待ち時間が長い 病院の受付に間に合わない。本数が少ないので1日仕事になる。 利用したい時刻に合うダイヤがほとんど無い事。 バス停(殿川)はあるがバスの本数が少ない。 押原地区は、バスの便が少なく利用出来ない。 多い医療機関だと帰れなくなる事がある。 本数が少ない。 本数が少ないので1日仕事になるようだ。 本数が少ない為、時間が合わない。 バスと電車の時間の接続が悪い。 総計 47

4

	(5) 課題【バスや列車の使い方が分らない】	
	萩地域	
	バスの行き先が理解しづらいので、実際に乗って体験学習すると良い。	1
	バスの使い方、行き先を把握していない人が多く、そして日常の移動に利用している方が少ないです(日	1
	常生活にバスを利用しなくてもあまり支障をきたしていない人も多い)。	1
	今まで車のない方は理解し、利用して分かると思うが、今から先免許を返納する方が慣れず、不安かも?	1
	市外にはバスや列車を使うが、バス停までも他の交通手段(タクシー他)を利用しなければない。	1
	時間間隔が大きく、次第にバス、列車ともに疎遠になる。	1
	切符を買うのに困る。	1
	誰にでも理解できる方法を考えて下さい。	1
	普段利用しない人が急に利用しようとしても分からない。	1
	路線バス及びまぁーるバスの使い方、行き先等、わかりにくく利用しにくい。	1
Ì	田万川地域	
	これまで自家用車を使っていた人が免許を返納しても、直ぐにはバスの利用の仕方が分からないことが多	1
	い。教えてくれる人もいない。	1
	バスの使い方や行き先を知らない方が多く、不安であるため日常の移動で利用できない。	1
	利用が少なく分からない。	1
j	むつみ地域	
	当地区のデマンドバス予約(電話)をするのは戸惑いを持っているようです。	1
	- 須佐地域	
	ぐるっとバスの利用法を知らない人がいる。	1
	萩市内のまぁ―るバス、東回り、西回りなどとあるが、どこをどのように通過しまわるか分からず、利用	1
	できない。	'
	利用しやすい工夫をしてほしい。高齢者は無理がある。	1
į	列車の時刻表の見方がわからない。	1
	<b>松計</b>	17

(5) 課題【バス・列車の車両やバス停・駅が使いにくい】	
萩地域	19
ステップの高いバスがあり膝などの悪い人など乗り降りが難しい。バス停に屋根がなく、ベンチが汚れて いたり、濡れている為利用しにくい(高齢者に不向き)。	1
スロープはあるものの、列車の乗り降りには階段があり、足の不自由な人は大変だと聞いている。バス停	1
も駅の所なので移動に時間がかかる。	
そのような具体的な事柄に到達する前に公共交通との接点がない。	1
バスの乗り口が高い(スナップ)。 	<u> </u>
バス停が海の近くにあり雨や風の日は利用しにくい。	<u> </u>
バス停にベンチがあるのは嬉しい。屋根がないので雨天のときは利用しにくい(まぁーるバス利用者)。	- 1
バス停に階段を利用しないといけない人も多いですが、足の悪い方には不便です。ベンチに屋根があると いいと思います。	1
バス停はどうにか利用できるが、駅は段もあるし、便が少ない。	1
まぁ―るバスは、ぐるぐる回るので、近い所でも遠回りになり、時間がかかる。萩市内三駅は階段が多	1
い。足が悪い者には辛い。	
坂道、段差が多く、高齢者の利用が難しい。	1
使いにくいのではなく、そうしないから。例えば、バスの通り道がバス停になっているが、これを駅前に	
バス停を作る、人が動くのではなく、バスが動く。玉江駅は個人の方が絵を掲げ画廊になっています。絵	1
を見ながら待つことができます。	
正規のバス停ではない場所では怖い思いをすることがある。	1
平安古に一番近いJRの玉江駅は段差が多いと思う。バス停にベンチや屋根がなく、利用されるのは高齢者	
の方が多いので、困っておられるのでは?	ı
陸橋が使いづらい。	1
列車の乗降が大変(足が不自由)な為、あまり利用したくない。	1
列車の本数が少ない。	1
列車は駅側に止まるといいのですが、反対側にとまると階段を昇って、今度は降りなくてはいけない。ス	
ロープを付けてほしい。	1
路線バスに屋根がないので、雨の日には困る。	1
路線バスは高齢者に乗り降りが困難である。1ヶ所はベンチを置くスペースもないところ。	1
川上地域	4
ぐるっとバスの段差が大きく足腰が悪いので利用しにくい。	1
バスの乗降のステップの段差が大きくて、高齢者の利用が難しい。	1
バス停が屋根は有るが迴りが無いので、雨や雪の日はベンチに座る事が出来ない。	1
転出された方だが、バスを降りる時、高さに対して対応できず落ちられた。脚力不足(病気の為)では	
あったが。	1
田万川地域	5
バス、列車の乗降が高齢者は難しい。	1
バストラー・	1
駅は階段があるので利用できない。	1
製造	1
	1
列車はもらつんバスも使えない。遂い::駅まで。 おつみ地域	1
遠いし、待つ場所がない。ベンチだけか、何もなし。	1
たません は プログラング ファン・ン ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・	_1
駅の階段が大変だと思う。	1
	1
	1
列車:階段の利用が難しい(高齢者)。	1
列車:階段の利用が無しい(高即有)。 福栄地域	2
ぐるっとバスを待つときはコンクリートに座って待っている。	1
防長の未原バス庁には、少道もなく、付ら合いもないので利用者の方は危険で、大候によってはとても手 そうです。	1
担地域	2
バスの昇降ラップの段差が大きいので、高齢者の利用が難しい。	1
バスの弁阵プラブの段差が入さいので、同断者の利用が難しい。バス停はあるが汚く、ベンチは壊れている。	1
・ バスをはめるからく、ハンテは壊れている。 総計	37
MODI I	31

その他、不満や具体的な改善点があればお答え下さい。	33
100円で乗れるまぁーるバスの路線が廃止になった。廃止の理由も不明。いまだに復活していない。	1
1日1往復でもいいので地域へ、今バス停のない場所へバスが来ると良い。70代の方たちも今は免許があ	
が、免許を返納すると不便である。バス停が地域に増えると返納も早くでき事故を防ぐことも出来るの はないかと思います。	
この地域は、バス停が割りに近いので便利のうちに入ると思う。	1
なるべく病院の帰りに買い物が出来るように路線を考えて欲しい。	1
バスが立ち寄る箇所を平安古西区の1に1ヶ所増えると利用しやすくなる。	1
バスの時刻表が各家庭で分かる方法はないかという問いがありましたが、時刻表をメモしてはと申して	お 1
きましたが。	'
バスの便が少ないので不便。	1
バスを小型化して、立ち寄る箇所を増やして欲しい。河添町にバス停が1ヶ所でもあると嬉しい。個人紅営の店が閉店し、スーパーに行かざるを得ない。	<sup>圣</sup> 1
バス時刻表、利用法等を市報等で配布は?	1
バス停がもっと増えるといいと思う。まぁーるバスの行き先をもっと分かりやすくして欲しい。	1
バス停が駅前でなく道路が広くなっていいるので浦地区、例えば漁協の横とかになると浦地区の方々が	1
もっと利用しやすくなるはずです。	'
バス停をもう少し増えると、利用しやすい。萩自動車学校筋のバス通りで今までにもバス、自家用車と	
学生の自転車(高校生)が何度もぶつかって救急車で病院へ運ばれている。町内会長さんの方々にも連	
絡、お伝えしているにもかかわらず、何の改善もなく地区の皆様も毎日心配の心である。市議員さんに	
何度も伝えている。この機会に何とか改善、地区の皆様に良い報告ができればいいと思っております。	女
心して乗れるバスであって欲しい。 まあーるバスのり換えても100円のままにしてほしい。川外、中津にへのバスもほしい。	1
まわるバスが30分に1本運行されているが、1時間に1本は要望のある所へ路線を伸ばしその分1部のバス	
を減らす等の工夫はできないものかと考えます。	1
まわるバスのバス停に日除け、雨除けの為の屋根やベンチがあると利用者は大変助かると思います。	1
駅はタクシーで行っています。	1
越ヶ浜のバス停の待合所が壊れかけています。危険の表示はありますが、暑さ寒さ雨風など外で長時間	待 1
つのは大変です。特に高齢者には体力的に無理です。事故のないように早く修理してほしい。	•
回るバスの停留所に屋根があると良いと思います(雨や暑さをしのぐ為)。観光シーズンに増便は出来	:な 1
いでしょうか。	'
公共交通は日常的に利用する習慣はないが、なくてはならないものとして考えている方が多いと思う。	改 1
──善点は…? 	L
今、三見内だけのぐるっとバスが市内まで行ってくれると有難い。また、この車に乗る時手すりがある 嬉しい。	1
山田地区内ではバス停でなくても乗降できるのが良い。	1
市内巡回バスが立ち寄る箇所が増えると良い。	1
時刻表が小さすぎる(バス停の「表示板」の大きさに)。高齢者や足の不自由な人たちのために、バス	.の <sub>1</sub>
乗降口のステップは低い方がよい。運賃はできる限り低くしてほしい。	'
自動車なら10分くらいでいける所でも、バスなら1時間30分ぐらいかかることもある。	1
車を持っている人も高齢化していく中で免許証の返納を考えざるをえない。公共バスでは行きたいとこ	
までの時間がかかり、タクシーでは、経費がかかる。バスでは経路が分かりやすいように表示すること	1
―― や、タクシーの割引制度があるといい。 西廻り、東廻りだけでなく、午後は同じ停留所で帰りがあればよいとの意見があった。バス停の時刻表	
対している。	
子を入さくしてください。浜崎でも外回りをハスが走りているが、遠いので脚加層の削さが中の方にも入ってきてもらいたい。	1
体が不自由なので移動に時間がかかるが、できれば自分の目で確かめて買い物がしたい。	1
当地区は、まぁーるバスを利用して日常の移動をする人が多い(後期高齢者)。人家の多い旧道コース	.Iこ
なれば利用しやすいとの声あり。バス停がもう少し増えると、便利で利用しやすい。バス停にはベンチ	1 ع
屋根が欲しい。時刻表も大きくわかりやすくして欲しい。	
萩は他の市町村にないものを、みんなの力で作るべきです。5年10年先の事を考え、高齢者社会を皆が	
手に付き合っていける町を。高齢者が自由に好きな場所に、好きな時間に出かける事が出来る交通手段	
を、出掛ける事で楽しみが増え、人に会える、色々な場所に行き、見学し改めて萩の良さを知る。お金	
適当に使ってもらう。健康にもなれる。あちこちに赤いまぁーるバスを走らせてください。萩のトレーマークにもなります。料念はドニに行っても100円です。何年もっても、トリカミずできる東、倉江に	
マークにもなります。料金はどこに行っても100円です。何年たっても。とりあえずできる事、倉江にいいバスを走らせて下さい。①赤い線をバスが通る事で多くの方が安心して倉江の地区で過ごせます。②	
けれるを足らせて下さい。①赤い縁をれるが通る事で多くの方が安心して启江の地区で過ごせます。@ 共交通の改善が出来なければ、行政の指導で、各スーパーに協力してもらい、それぞれが近くの方々の	
めに社車を出して頂く。※お願いです このようなアンケート調査をされたからには調査で終わらず、	
ず改善して下さい。しかも、短時間で、今すぐに。私はしてもらえるかどうか結果を楽しみにしていま	٠
本郷から羽賀の道中が狭く道が悪いので、高齢運転になるとすれ違いが困ってしまう予想です。	1
木間地区内を回るバスがあると便利である。また、路線バスのバス停までが、遠い所では3~4km位有	1
利用人口、利用頻度が低いと思うのでなかなか改善案が浮かばない。よく利用する人の為の割引チケッ	
などはないのだろうか。	·
路線バス、回るバスも通っているので、特に支障はないと思われます。 	1

田万川地域	
ぐるっとバスがあっても、利用の仕方を知らない人が多い。高齢者には前日の予約は難しい(体調が一定 しないこと、予約するのを忘れるなど)。	1
ぐるっとバスは江崎方面への運行だけで小川から小川への運行はない。郵便局、JA、交流センターなど、 小川から小川への移動も考えていただければと思います。	1
これから、このままではこの場所では生活ができない。福祉バス等ができればいいと思ってます。	1
バスを利用される方が少ない為、タクシー券について考えたらどうでしょうか。	<del>- i</del>
高齢者の方が100円でどこまでも乗れるとか、途中で気軽に乗降出来たら良い。	1
実際、列車やバスを利用していないので、現実の状況がよく分かりませんが、移動するのが大変とはよく	
聞きます。	- 1
特に尾浦地区を対象に言えば、買い物(日常生活の)は販売カーが定期的に来るので、さほど不便はない	
ようです。ただ、記述したように医療機関へ利用する石見交通のバス停までが大変な様です。(バス停ま	
でが1.2~1.5km)益田市を結ぶ「石見交通バス」は運行本数は少ないながら、各医療機関へ行くのにダ	1
イヤがとても便利です。医療所から帰りの買い物なども出来るそうです。戒二、江津に関しては、バス停	
が近いので問題ないが、江崎駅までは少し遠いので、あまり利用していない。	
防長バスは、補助され安価になっているが、バス、列車と乗り継いで益田方面に病院に行くとしても、ま	1
たバスに乗っていかなければならないので、運賃の高い石見交通を利用するようになる。	
まつみ地域 ペス・レジスギナスの不完時買い物は出来る。 移動買い物事 ギロ・エいスのでもはのものはまる	3
ぐるっとバスが有るので病院買い物は出来る。移動買い物車が回っているので大体のものはある。	1
こういうことは民生員に頼らず、市の職員で調べたらどうか。先々自家用もなくなり、交通手段もなくな ると思うと不安です。	1
全体的に自分で運転出来る人も多く、高齢者や運転免許を持っていない人も家族等の車で移動している人	
が多いように思う。	1
海	9
ぐるっとバスのバス停の箇所が多くなればいい。バスや列車の職員さんが親切に接して頂きたい。列車の	
回数が少ない。	1
ぐるっとバスもあるが曜日や時間が決まっていて、また、曜日で時間が違っているのでお年寄りには難し	
いかも知れません。タクシーも忙しい時は利用が難しいようです。誰もが気軽に利用出来る交通機関があ	1
るとよいのですが。	
ぐるっとバスを利用したいが、予約なしで利用できることを望む。今自分は車の運転もでき、不便を感じ	
ないがいずれ年をとり運転できない、独立してしまったらすごく不安です。ちょっとした時に自由に手助	1
」 けして頂けると助かります。 バスの便が少ないので不便。利用が少なく路線バスが廃止されても仕方がないと思っている。しかし、免	
バスの使が少ないので不便。利用が少なく路線バスが廃血されても仕方がないと思うている。しかし、発 許のない人、車がない人は移動に大変困っているので足に変わる対策を早急に考えて欲しい。また、足腰	1
の悪い人が多いので予約制でもいいので細部に送迎できるような対策が必要だと思う。	'
バスの利用者が少ないので小型化したら?	1
月に1~2回でよいから、定期的にバスがくると安心する。	1
高齢者が増える中、バスがなくなってしまうと困る。	1
食料品や日知用雑貨店への利用を認めて欲しい(生きるために必要なため)。便数の増加して欲しい。ぐ	1
るっとバス制度の充実。	
買い物等は宅配を利用する方法もあると思います。電話で外出希望日時の予約を受け、自宅から目的地ま	1
で送迎するようなシステムを!	1
旭地域 ぐるっとバスの運転手さんは親切で大変良い。	4 1
バスの利用が少ないのは、運行ダイヤ・バス停の位置等あると思うが、一番は皆さん高齢で、また足も不	
自由な方がおられるため、バスを利用されるのを見る数も少ない。	1
バス利用したい時、事前に連絡しバス停までの送迎が出来ると良いと思う。	1
萩市内や山口市内のバス利用に比べて、バス賃が高く全く補助が出ないのは不満です。ぜひ改善すべきで	1
す。	
福栄地域	5
ぐるっとバスの運行数を増やしていただきたい。	
バス停の文字が小さく読みにくい(無いバス停もあった)。 	1
当地域では、ぐるっとバスが曜日指定で運行されているので、利用される方は多いが、運行経路の途中で ま・乗隊出来れば良いと思う。	1
も乗降出来れば良いと思う。 特にはありませんが、バス代が高いのと、どこからでも乗車できるようになったらいいと思います。年と	
そもに足も不自由になるので停留所まで行かなくても乗れると便利だと思います。	1
- こうに足られ自由になるのでは自分よくすがなくとも未れるとほれたと思います。 - 福栄地区の診療所、役場等へはぐるっとバスで行けるが、市街への買い物等が乗り換えが必要で使いにく	
いようだが、皆さん上手に使っている。公共交通の存続は是非お願いしたい	1
不明	1
<u>公共交通の利用だけでは現状を変えることが難しい。将来、集合住宅の選択肢も考えてもらいたい。</u>	1
総計	63